

平成21年8月31日

各位

(独) 農業生物資源研究所

(社) 農林水産先端技術産業振興センター

最新アニマルテクノロジー公開シンポジウム

「ブタゲノム解読が拓く新たな世界 ー期待される食と医への貢献ー」のご案内

動物ゲノム研究においては、ウシ、ウマ、ニワトリ等では全ゲノムの概要解読が終了し、ブタについても国際コンソーシアムの下で解読が精力的に行われており、今年11月初めにはブタゲノムの概要解読完了が予定されております。今後は、この解読情報などを活用した有用遺伝子特許の取得及び産業利用等のポストゲノム研究における国際競争が激化していくことが予想されます。

このような中、農業生物資源研究所と農林水産先端技術産業振興センターは、公立試験研究機関、大学、民間企業などの研究者と連携して、現場で必要とされる抗病性や経済形質を飛躍的に向上させた優良系統豚の開発を進めるとともに、医療研究用モデルブタの開発に重点をおいた研究を進めることにより、新たな需要の創造、動物を用いた新産業創出の基盤形成をめざしております。

そこで、今回、ブタゲノム概要解読完了という時宜を得て、ブタゲノム情報とその活用をめざした「ブタゲノム解析とDNA育種」、新需要の創造を担う「医療用モデルブタ」について、これまでの成果を発表するとともに、今後の展望について論議する公開シンポジウムを開催することに致しましたのでご案内申し上げます。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

記

公開シンポジウム「ブタゲノム解読が拓く新たな世界 ー期待される食と医への貢献ー」

日 時：2009年11月27日（金）10:00～17:40（受付開始9:30）

会 場：コンファレンススクエア エムプラス（東京駅丸の内南口徒歩3分）

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル（TEL 03-3282-7777）

<http://www.marunouchi-hc.jp/emplus/access/index.html>

主 催：(独) 農業生物資源研究所、(社) 農林水産先端技術産業振興センター (STAFF)

内 容：詳細は農業生物資源研究所 HP（<http://www.nias.affrc.go.jp/>）をご覧ください。

参加費：無料（定員200名）

交流会：同会場18:10～19:40（会費3,000円）

参加申込み：交流会参加の有無と合わせて

メール (butasympo@staff.or.jp) 又は FAX (029-838-1780) でお申し込み下さい。

(お問合せ) ブタシンポジウム事務局 (小畑) TEL:029-838-2113、butasympo@staff.or.jp

最新アニマルテクノロジー公開シンポジウム

「ブタゲノム解読が拓く新たな世界 ー期待される食と医への貢献ー」

日時：2009年11月27日（金）10:00～17:40（受付開始 9:30）

会場：東京丸の内三菱ビル（コンファレンススクエア M+）

9:30 受付開始

10:00-10:20 主催者挨拶、来賓挨拶

基調講演

10:20-11:10 家畜全ゲノム解読がもたらすゲノム研究の新たな展開 菅野純夫（東京大学大学院）

11:10-12:00 アニマルテクノロジーによる医療への貢献 佐藤英明（東北大学大学院）

12:00-13:00 昼食

第1部 ポストブタゲノム解読研究、その将来展望

座長：栗田 崇（農業生物資源研究所）

13:00-13:40 ブタ全ゲノム解読とポストゲノムへの展望 上西博英（農業生物資源研究所）

13:40-14:10 豚肉生産・消費現場からのゲノム研究への期待 普川一雄（全農飼料畜産中央研究所）

14:10-14:35 SNP解析を豚育種と食の安全に生かす 奥村直彦（農林水産先端技術研究所）

14:35-15:00 DNAマーカー選抜による「しもふり」種豚の開発 吉岡 豪（岐阜県畜産研究所）

15:00-15:20 休憩

第2部 医療用モデルブタの開発・利用の展望

座長：門松健治（名古屋大学大学院）

15:20-15:50 進む、わが国の遺伝子組換えブタ開発の展望 大西 彰（農業生物資源研究所）

15:50-16:20 循環器内科における実験用ブタの有用性と今後の展開 宮内克己（順天堂大学医学部）

16:20-16:50 小児外科における実験用ブタの有用性と今後の展開 加藤善史（順天堂大学医学部）

16:50-17:20 異種移植研究における遺伝子組換えブタ利用の現状と期待 小林孝彰（名古屋大学医学部）

17:20-17:40 総合討論

17:40 閉会

主催：(独)農業生物資源研究所、(社)農林水産先端技術産業振興センター(STAFF)

後援：農林水産省、農林水産技術情報協会、畜産技術協会

日本中央競馬会、日本養豚協会、日本実験動物協会

参加費：無料 交流会：18:10～19:40 (3,000円)

参加申込み：交流会参加の有無と合わせてメール(butasympo@staff.or.jp)又はFAX(029-838-1780)で

下記までお申し込み下さい。

(お問合せ) ブタシンポジウム事務局(小畑) TEL:029-838-2113、butasympo@staff.or.jp

農林水産先端技術研究所 〒305-0854 つくば市上横場字一杯塚 446-1

ブタゲノム解読が拓く新たな世界

～ 期待される食と医への貢献 ～

プログラム

10:00～10:20 主催者挨拶・来賓挨拶

基調講演

- | | | |
|-------------|--------------------------|-----------------------|
| 10:20～11:10 | 家畜全ゲノム解読がもたらすゲノム研究の新たな展開 | 教授 菅野 純夫
(東京大学大学院) |
| 11:10～12:00 | アニマルテクノロジーによる医療への貢献 | 教授 佐藤 英明
(東北大学大学院) |
| 12:00～13:00 | 昼食 | |

第1部 ポストブタゲノム解読研究、その将来展望

- | | | |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 13:00～13:40 | ブタ全ゲノム解読とポストゲノムへの展望 | 主任研究員 上西 博英
(農業生物資源研究所) |
| 13:40～14:10 | 豚肉生産・消費現場からのゲノム研究への期待 | 所長 普川 一雄
(全農飼料中研 種豚開発センター) |
| 14:10～14:35 | SNP解析を豚育種と食の安全に生かす | 主任研究員 奥村 直彦
(農林水産先端技術研究所) |
| 14:35～15:00 | DNAマーカー選抜による「しもふり」種豚の開発 | 専門研究員 吉岡 豪
(岐阜県畜産研究所) |
| 15:00～15:20 | 休憩 | |

第2部 医療用モデルブタの開発・利用の展望

- | | | |
|-------------|----------------------------|----------------------------|
| 15:20～15:50 | 遺伝子組換えブタ開発の展望 | 主任研究員 大西 孝彰
(農業生物資源研究所) |
| 15:50～16:20 | 循環器内科における実験用ブタの有用性と今後の展開 | 准教授 宮内 克己
(順天堂大学医学部) |
| 16:20～16:50 | 小児外科における実験用ブタの有用性と今後の展開 | 准教授 加藤 善史
(順天堂大学医学部) |
| 16:50～17:20 | 異種移植研究における遺伝子組換えブタ利用の現状と期待 | 教授 小林 孝彰
(名古屋大学医学部) |
| 17:20～17:40 | 総合討論 | |
| 17:40 | 閉会 | |

日時 **2009年 11月27日** 金

10:00～17:40 (受付 9:30開始)

場所 **コンファレンススクエアM+**

<http://www.marunouchi-hc.jp/emplus/index.html>

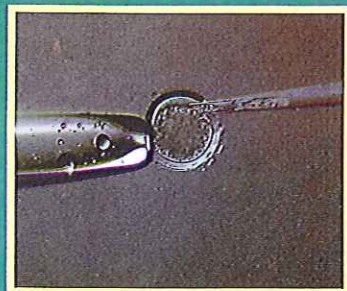
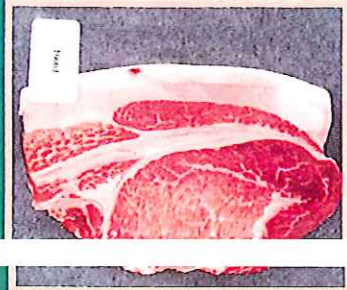
東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル (TEL 03-3282-7777)

◎アクセス：東京駅丸の内南口徒歩2分

参加費：無料 交流会：3,000円
(交流会 18:10～19:40)

参加申込み：交流会参加の有無と合わせて
メール又はFAXでお申し込み下さい。

農林水産先端技術研究所内
ブタシンポジウム事務局 (小畑、TEL: 029-838-2113)
butasympo@staff.or.jp FAX: 029-838-1780



公開シンポジウム及び交流会申込書

「ブタゲノム解読が拓く新たな世界 ー期待される食と医への貢献ー」

日時：2009年11月27日（金）10:00～17:40（受付開始9:30）

会場：東京丸の内三菱ビル（コンファレンススクエア M+）

氏名：

所属：

メールアドレス： @

シンポジウム ： 参加○ 欠席×

交流会 ： 参加○ 欠席×

申込書送付先：

交流会参加の有無と合わせて

メール (butasympo@staff.or.jp) 又は FAX (029-838-1780) でお送り下さい。